

私たちの「仲間たち」

281

美人は得だね

日当たりの良い草地や山林の道ばたによく見られる植物ですが、このような場所は頻繁に草刈りをされる場所でもあり、草丈の大きくなる植物にとっては成長し花をつけるのは、なかなか厳しいものがあります。ところが、この植物は時々写真のように、そのような場所でも大きな群落を作り、繁茂している場合があります。周りはよく草刈りがされているのに、この場所だけ残されていて花が咲き誇っているのをよく見かけます。



▲鳩山の動植物
オカトラノオ (サクラソウ科)

どうやら、草刈りの人が花を楽しむために意図的に刈り残しているようです。きれいな花をつけて人目をひくことから、草刈りを免れ繁栄しているようです。オカトラノオが人間の心まで推し量って花をつけているとは思えませんが、「美人は得だね」と声をかけたくなってしまう。そのためだけとは思えませんが、町内各地で普通に見られる植物になっています。

名前の由来は、白い花の集まりが太い虎の尻尾のようなので「虎の尾」となったようです。茎の先に10〜20cmほどにもなる花の穂をつけ、群がって生える様子はなかなか見応えがあります。穂の先は曲がって垂れ下がり、この様子も虎の尾を思わせます。また、近寄ってこの穂にある多数の花の一つを良く見ると、直径が約1cmの五角形をしていて、これも品のある姿をしています。サクラソウ科は名前の通り花の美しい植物が多く、オカトラノオもその例に漏れませんが、

北海道から四国、九州までと日本全国に分布し、よく似た植物では湿地に主に生えるヌマトラノオなどが鳩山にも見られます。

(写真・文／中澤 利雄)

人口と世帯

5月1日現在、()は対前月比		
人口	14,831人	(-26)
男	7,353人	(-16)
女	7,478人	(-10)
世帯	5,805世帯	(+3)
4月の出生数	3人	

6月の納税・納付

町県民税	(第1期)
水道料金	(4・5月分)

◆特別徴収◆

介護保険料・国民健康保険料
後期高齢者医療保険料

編集日記

▼一時保育の特集記事を編集している時期には、「こどもの日」があり、象徴的な風景の一つである鯉のぼりを町内で探しに出かけました。探しているうちに、自分が想像する立派な鯉のぼりにはなかなか出会えないことに気がつきました。取材先で「最近は大きな鯉のぼりを立てている家はあまり見かけなくなつた」と話をされていたことも印象的でした。

鯉のぼりの起源は中国とされており、故事の中では、黄河の急流にある竜門と呼ばれる滝登りに多くの魚が挑んだところ、鯉だけが登り切り、竜になることができたことから、鯉の滝登りが立身出世の象徴となったようです。

広報マンとしてまだまだ滝登りにさえ挑めない程未熟な自分ですが、いざその時が来たら、立派な鯉のように、滝を登りきれよう少しずつ精進していきたいと思えます。Ⓚ

